

千葉陸協だより



発行：千葉陸上競技協会総務委員会広報部 2021年3月20日発行

第16号

新しい生活様式、新しい競技生活

専務理事 木内 俊秀

令和2年度は度重なる緊急事態宣言の中、感染防止の厳しい制約の下スポーツ活動が行われました。オリンピック TOKYO 2020大会も延期となり、開催に向けてまだ課題が多く残っています。

令和2年度本協会も多くの競技会の中止または日程変更の対応を取りました。1回目の緊急事態宣言の解除を受け、日本陸連をはじめ関係機関の通知等に従い競技会の開催の準備を行い、本協会の本年度最初の競技会として8月に2020千葉県高校陸上競技会の開催にこぎつけました。その後、千葉県選手権、クラブ対抗など主要競技会も開催することができ、小中体連や高体連も競技会を再開しました。例年とは異なる制約の多い大会運営となりましたが、参加選手の皆さんはもちろん関係者の皆様のご協力をいただき円滑に運営することができました。

競技会開催にあたっては、手指消毒、マスクの着用、選手役員の健康状況の申告、無観客での開催などご協力をいただくとともに、競技運営では三密の回避、競技会場及び設備用具等の消毒の徹底を図りました。競技役員の皆様にはチーバ君がプリントされたマスクや特に必要な部署にはフェイスシールドを配布し、感染防止の意識を高めていただきました。また、理事会や事務局会議など各種会議についても少人数での開催、開催時間の短縮、内容によっては文書等での代替開催など簡素化を図りました。関係の皆様には制約の多い中、感染防止対策にご協力いただき感謝申し上げます。

普及強化の面でも例えば中学校や高等学校では部活動の練習内容や活動時間に制限があり、十分なトレーニングが行えない状況が続きましたが、全国中学校陸上競技大会2020では藤井清雅君（君津中）が男子100mで、同じく牧野友哉君（四街道西中）が男子棒高跳で、そして全国高等学校陸上競技大会2020では石井優吉君（八千代松陰高）が男子800mで優勝を果たすなど、明るい話題を与えてくれました。この他にも千葉県に本拠地を持つ富士通チームが2021ニューイヤー駅伝で優勝し、箱根駅伝では本県出身の多くの選手が活躍しています。感染防止が最優先の難しい条件の中ですが、普及強化の推進にも知恵と工夫をしばり飛躍の2021年としたいと思います。

さて、2021年度からいくつか改められる内容についてお知らせします。まず、すでに報道等もされておりますが、日本陸連では2021年度より登録料が新設されました。これまでの納入金は登録に伴うデータベース料でしたがこれを廃止し、新たに登録料の納入が2020年8月の日本陸連理事会で決定されました。この目的は、安定した事業の運営に活用することであり、全国大会等日本陸連主催大会の運営充実、日本を代表する選手の強化育成、審判員や指導者の養成、情報サービスの充実などです。皆様には趣旨をご理解の上よろしくご協力くださるようお願いいたします。次に、国民体育大会の種目が変更されます。世界で戦える選手の育成を目指し、ジュニア選手の強化を目的として300mなどの変更が行われます。本協会でも該当種目の開催に向けた競技場の調整などを行い、各中学校及び高等学校にお知らせをしたところです。

感染症拡大防止のため「新しい生活様式」の実践が求められています。スポーツの世界でもコロナ禍の中での活動には様々な対応が必要です。本協会も安全な競技会の開催運営、選手の健康面に配慮した育成強化、感染防止の啓蒙等に努めてまいります。

まもなくトラックシーズンですが、状況が多少なりとも好転し順調に競技会が開催できることを願っております。厳しい状況ではありますが競技の普及と競技力の強化に励み、登録会員の皆様と一緒に陸上競技王国千葉を目指したいと思います。本年も本協会の活動に御支援賜りますようお願いいたします。



陸上部紹介

「四街道市立四街道西中学校」

本校は全校生徒 470 人の中規模校で「心身ともにたくましく夢を抱き挑戦する生徒の育成」の学校教育目標のもと様々な活動に「挑戦」というテーマを持って取り組んでいます。

陸上競技部は 3 年生 17 名、2 年生 8 名、1 年生 11 名の総勢 36 名と顧問 2 名が在籍をしています。練習は、平日に約 2 時間の練習を 4 日間と、休日は土曜日に約 3 時間の練習を行っています。(木曜日と日曜日は休み)

部員は「水滴石穿」を合言葉に、陸上競技を通して努力することの素晴らしさや人間力を磨き、学んだ事を日常生活の様々な場面に繋げることができるよう情熱をもって日々の練習に励んでいます。

昨今の成績は、個人種目では 100m・100mH・走高跳・砲丸投・棒高跳で全国大会出場、学校対抗では県新人大会において男子総合準優勝などの成績を収めています。また、今年度は男子棒高跳において全国大会で優勝を果たしました。

新型コロナウイルスが猛威を振るっていますが、大変な時こそ大きく変われるチャンスであると捉え、日々工夫を凝らし、更なる飛躍を目指して頑張っていきたいと思えます。



「県立姉崎高等学校」

全校約 470 名の小規模校ですが、現在部員数は 47 名と全校の 1 割を占めており、部活動だけでなく、全校のリーダーとして、日々精進しています。

活動理念は、①人間力の向上(社会で通用するための基礎基本、想像力、向上心、感謝の心等の育成) ②競技力の向上(県大会出場から全国まで、そして地元公立高校から日本一、世界を目指す)の 2 つをモットーに、地域の方々に支えられながら活動しています。

主な競技実績は、平成元年の全国高校総体で 2 名の入賞、翌年の世界ジュニア選手権でも入賞を果たしました。近年では平成 28 年から 3 年連続でインターハイ出場、国体や日本陸連の海外派遣などにも代表選出されています。

練習環境は、アンツーカーですが 260m のトラックに直線走路(4 レーン)、走高跳ピットにオールウェザー仕様の幅三段跳ピットがあり、ほぼ専用状態で練習が行えます。

未だコロナ禍で、制限のある中での競技生活が続いていますが、このような時だからこそ、元気よく前を向き、強豪千葉のレベルに恥じぬよう、チーム力と個々の能力を最大限に引き出す努力をしていく所存です。今後ともよろしく願いいたします。



この人に
聞く

千葉のアスリート紹介

第15回 金子 魅玖人さん

こんにちは、中央大学陸上競技部の金子魅玖人です。今年度私は日本選手権 800m で2位、セイコーゴールデングランプリで優勝、関東インカレ 1500m で優勝することができました。日本選手権やゴールデングランプリなど、初の日本トップレベルでのレースはとても緊張しましたが、逆に初であったことから、チャレンジャー精神で挑むことが出来たので、緊張しすぎることなく、自分の走りをする事が出来ました。また、トップレベルの選手と戦うことが出来たのでとても楽しかったです。日本選手権では準優勝と、あと一歩のところで優勝を逃してしまったため、来年度は優勝し、アジア選手権では3位以内入賞を目指したいと思います。また、今年度の結果はやってきた練習に対する自信にもなったので、更に質が高い練習ができるよう、楽しみながら今年もできればと思います。

これからも自分の走りを研究し、走りを楽しみ、そして己の結果に慢心せず、応援して下さるすべての人々への感謝の気持ちを忘れず、さらなる高みを目指して努力していきたいと思っています。



プロフィール

金子魅玖人	県立鎌ヶ谷高校 → 中央大学
日本選手権	準優勝 800m 1.47.95
セイコーゴールデングランプリ	優勝 800m 1.47.30
関東インカレ	優勝 1500m 3.51.67

団体紹介 土気 TFC

この度、チーム紹介の機会をいただきましたので、紹介をさせていただきます。

土気 TFC は 2008 年 4 月に立ち上げ、2020 年度で 13 年目を迎えました。チーム発足のきっかけは、土気高校陸上部 OB で陸上をやろう、となったことです。その後、土気高校以外のメンバーも多数集まり、今は千葉県の社会人陸上チームの一つとして、現在は 25 名で活動しています。過去の成績としては、毎年出場しているクラブ対抗陸上では、3 位までの入賞が 8 回、そのうち優勝が 3 回です。今では大会のレベルも上がってしまい（陸上界としては嬉しいことです・・・）、上位に食い込むことも難しくなってきましたが、諦めず、チャレンジャーの精神で大会に挑んでいます。

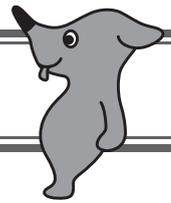
土気 TFC のチーム方針は、「何よりも陸上を楽しむこと!」。そして、「色々なイベントを通して、チームメイトがより多く交流できる環境を作ること」です。仲の良い楽しいチームになれば、個人ではできないこともやれるようになります。

ちなみにですが、当チームには、指導者やコーチというポジションはありません。チームメイト全員が陸協登録選手であり、サポーターです。お互いにサポートし合うことで競技力を高め合い、陸上をより楽しむことができていると感じています。土気 TFC でしか出会えないつながりを大切に、これからも千葉県の陸上競技の発展に少しでも貢献できるように、更なる「楽しい陸上チーム」を目指していきます。





栄賞贈与者の紹介



千葉県 PR マスコットキャラクター チーパくん
千葉県許諾第 A287-14 号

お知らせ

〔日本陸上競技連盟 栄章〕

高校優秀指導者章 鈴木 孝三 木更津総合高等学校
 中学優秀指導者章 佐藤 圭亮 松戸市立第五中学校
 高校優秀選手章 村竹 ヲツト 松戸国際高等学校
 中学優秀選手章 ハッサン ナール 松戸市立第五中学校
 安藤百福記念章 大木 成浩
 (千葉陸上競技協会強化委員会普及育成部委員)

〔千葉県スポーツ協会 功労章〕

伊藤 信夫 (千葉陸上競技協会競技運営委員会委員長)

〔令和2年度関東陸上競技協会感謝状〕

小野 岩男 (千葉陸上競技協会理事)
 山上 雅晴 (千葉陸上競技協会競技運営委員会委員)
 佐藤 広史 (千葉陸上競技協会総務委員会委員)

〔千葉陸上競技協会各種栄章贈与者〕

【令和2年度功労章】

奥田 義彦 千葉陸上競技協会理事
 松本 剛史 千葉陸上競技協会競技運営委員会副委員長
 花岡 麻帆 千葉陸上競技協会強化委員会副委員長

【令和2年度勲功章】

松枝 博輝 富士通
 伊東 利来也 早稲田大学
 金子 魅玖人 鎌ヶ谷高等学校
 村竹 ヲツト 松戸国際高等学校
 鳥海 勇斗 東京学館船橋高等学校
 チュクネジ ヲイル 優人 松戸市立小金中学校
 藤井 清雅 君津市立君津中学校
 小坂井 智絵 成田高等学校

【千葉県最高記録章】

松枝 博輝 富士通
 男子 1500m 3'38"12
 内田 萌奈 西武台千葉高等学校
 女子やり投 51m55

【千葉県高校記録章】

井上 光陽 東京学館船橋高等学校
 男子砲丸投 (6.000kg) 17m27
 小森 裕翔 西武台千葉高等学校
 男子円盤投 (1.750kg) 47m54
 景山 咲穂 船橋市立船橋高等学校
 女子 100 m 11"65
 女子 200 m 23"82

塙 明日華 東京学館高等学校
 女子ハンマー投 50m31

内田 萌奈 西武台千葉高等学校
 女子やり投 51m55

大熊 楓 船橋市立船橋高等学校
 女子七種競技 5133 点

【千葉県中学記録章】

高城 将 / 山下 遥也 /
 佐藤 聖也 / 齋藤 拓巳 アンドレ
 大網白里市立大網中学校
 男子 4 × 100mR 42"95
 ハッサン ナール 松戸市立第五中学校
 女子 200 m 23"99(日本中学新)
 清水 美有 松戸市立常盤平中学校
 女子四種競技 2743 点